

# Unit 21 分詞

**例題** 空所に適切な語句を入れましょう。( )内は複数語になる場合もあります。

- ① その**動いている**コンピュータは最新型です。  
The ( ) computer is the latest model.
- ② 彼は**疲れていた**ので、早く寝ました  
( ), he went to bed early.

動詞は動作・状態を表す言葉ですが、動詞を**現在分詞**(ing形)や**過去分詞**(多くは動詞の-ed形。不規則動詞もある)に形を変えると、形容詞や副詞の働きをする語になり、もっと詳しい情報を伝えることができます。

## 1 分詞の形容詞的用法

**ポイント1** 現在分詞 **-ing形**は、名詞を修飾する形容詞と同じ働きをし、「**～している** (物・人)」という情報を加えます。

The computer is the latest model. 「そのコンピュータは最新型です」

この文の主語 computer に「どのようなコンピュータか」という情報を加えてみます。

- 「その**動いている**コンピュータは最新型です」

⇒ The **working** computer is the latest model.

付加される情報が1語(現在分詞)のみの場合は語の前におく。  
= 【分詞の前置修飾】

- 「その**すばやく動いている**コンピュータは軽いです」

⇒ The computer **working fast** is light.

付加される情報が〈現在分詞 + α〉の場合は語の後ろにおく。  
= 【分詞の後置修飾】

**ポイント2** 「**～された** (物・人)」という情報は動詞の**過去分詞 -ed形** (不規則動詞の場合もあり)で付け加えることができます。

The information is true. 「その情報は本当です」

この文の主語 information に情報を追加します。

- 「その**報道された**情報は本当です」

⇒ The **reported** information is true.

過去分詞が1語の場合は前におく = 【分詞の前置修飾】

- 「**テレビで報道された**その情報は本当です」

⇒ The information **reported on television** is true.

〈過去分詞 + α〉の場合は後ろにおく = 【分詞の後置修飾】

## 2 分詞構文：文全体を修飾する副詞の働き

下記例文のように、副詞的に文の情報を補足する分詞を「分詞構文」と言います。

【時】when、while、afterなどの意味

**Walking** along the street, I came across my teacher. (**Walking** = While I was walking)

「通りを歩いていたとき、私は先生に偶然会いました」

**Having finished** lunch, I took my dog for a walk. (**Having finished** = After I had finished)

「昼食を済ませた後、私は犬を散歩に連れて行きました」

【理由】because、sinceなどの意味

**Tired**, he went to bed early. (**Tired** = Because he was tired)

「彼は疲れていたため、早く寝ました」

**Born** in China, I know a lot about the Chinese culture. (**Born** = Because I was born)

「中国で生まれたため、私は中国文化に詳しいです」

従属節である接続詞の主語と動詞が受動関係にある (he = tired, I = born) 場合は、接続詞と主語、受動態の動詞の形に欠かせないbe動詞が省略され、分詞構文が作られます。

【条件】ifの意味

**Turning** to the left there, you will find his house. (**Turning** = If you turn)

「そこを左に曲がれば、彼の家が見えます」

【譲歩】although (though) の意味

**Understanding** what you say, I cannot change my mind.

(**Understanding** = Although I understand)

「君の言うことは理解できるが、私は考えを変えることはできません」



【結果】andの意味

The storm hit the granary, **causing** great damage. (**causing** = and it caused)

「嵐は穀物地帯を直撃し、大きな損害を引き起こしました」

## 3 独立分詞構文

分詞には「独立分詞構文」として慣用的に用いられているものがあります。

独立分詞構文	意味
<b>Strictly speaking,</b>	厳密に言えば、
<b>Judging from</b> ○○,	○○から判断すると、
<b>Talking of</b> ○○,	○○と言えば、
<b>Assuming that</b> ~,	~だとすれば、
<b>Provided that</b> ~,	~だと仮定すれば、

※ ○○の部分には名詞が入り、~の部分には主語から始まる節が入ります。

Q 次の英文の空所に入る最も適切なものを (A) ~ (D) の中から選びましょう。

### 練習問題

- ① 彼は家族の問題について書かれた新聞記事を切り抜きました。  
He cut out the newspaper article ( ) family problems.  
(A) written about (B) wrote about (C) write about (D) be writing about
- ② 需要が高まっています (増加している需要があります)。  
There is an ( ) demand.  
(A) to increase (B) increased (C) increasing (D) have increased
- ③ 私たちは経済アナリストによって予測された状況下にあります。  
We are under the situation ( ) by our economic analysts.  
(A) foreseeing (B) foreseen (C) to foresee (D) foresee
- ④ その男性により提案された計画はみんなを助けるでしょう。  
The plan ( ) by the man will help everyone.  
(A) proposed (B) proposing (C) to propose (D) propose

### 発展問題

TOEIC® L&R TEST 本番レベルの問題にチャレンジ。

多少難解な表現も入っていますが、学習した文法知識で解ける問題です。

- ⑤ The chief editor, Mr. Harm, cut out the article ( ) family issues in the city of Melbourne, Australia.  
(A) writing about (B) write about (C) wrote about (D) written about
- ⑥ Harold Press reports that there is an ( ) demand for workers with computer skills.  
(A) to increase (B) increased (C) increasing (D) have increased
- ⑦ A danger ( ) is half avoided.  
(A) foreseeing (B) foreseen (C) to foresee (D) foresee
- ⑧ Under the current economic depression, the financial reformation ( ) by Professor Van Deal will help a lot of middle-class households.  
(A) proposing (B) proposed (C) to propose (D) propose

練習問題

- ① (A) 空所の前の語、**article**とさまざまな**write**の変化形を使った選択肢との関係を考えてみましょう。「記事」は「書かれる」ものなので、**written about**を選びます。(A)が正解。
- ② (C) **a / an / the + ( ) + 名詞**の並びなので、空所には形容詞が入ります。選択肢のうち、形容詞の働きをする形は(B) 過去分詞と(C) 現在分詞ですが、**demand**「需要」が「高まっている」ので(C) **increasing**が正解。**demand**「需要」、**increase**「増加する」。
- ③ (B) 空所には「予測された」を意味し、**by**以下の付属語を伴って後ろから**situation**について説明する語が入ります。動詞**foresee**「予測する」の過去分詞(B) **foreseen**「予測された」が正解。
- ④ (A) **The plan**が主語、**will help** (助動詞+動詞)の文になっています。主語の「計画」は「提案される」ものなので、(A) **proposed**が正解。

発展問題

- ⑤ (D) **編集長 Harm さんは、オーストラリアのメルボルン市での家族の問題について書かれた記事を切り抜きました。**  
主語は**The chief editor, Mr. Harm**、動詞は**cut out**「切り抜く」、目的語は**the article**「記事」の文になっています。「記事」は「書かれる」ものなので、(D) **written about**が正解。
- ⑥ (C) **Harold Press は、コンピュータ技術を持つ労働者への需要が高まっていると伝えています。**  
**a / an / the + ( ) + 名詞**の並びなので、空所には形容詞が入ります。これも問題②と同様、形容詞の働きをする現在分詞の(C) **increasing**を選びます。
- ⑦ (B) **予想された危険の半分は避けられたも同然。【ことわざ】**  
**danger**「危険」は**is half avoided**「半分避けられる」の文になっています。よって、「予測される危険は避けられる」の意であると考えることができます。動詞**foresee**「予測する」の過去分詞(B) **foreseen**「予測された」が正解。
- ⑧ (B) **現状での経済不況のもと、Van Deal 教授により提案された財政再構築は多くの中流家庭を助けるでしょう。**  
主語は**the financial reformation**「財政再構築」、助動詞+動詞は**will help**、目的語は**a lot of middle-class households**「多くの中流家庭」の文であるとわかります。主語の「財政再構築」は「提案される」ものなので(B) **proposed**が正解。**current**「現在の」、**economic depression**「経済不況」、**financial**「財政上の」、**household**「家庭」。

# Unit 28 仮定法

**例題** 空所に適切な語句を入れましょう。( )内は複数語になる場合もあります。

- ① もし会社にもっとお金があれば、新しい機械を**買えるのに**。

If the company had more money, we ( ) the new machine.

- ② もし部長が**賛成したら**、わが社はもっと人を雇うだろう。

If the manager ( ), we will hire more people.

仮定法は、現実とは違うことを仮定、想像、願望するときの表現です。「今」のことを表すときは過去形を使い〈仮定法過去〉、「昔」のことを表すときは過去完了形を使います〈仮定法過去完了〉。

## 1 仮定法過去：「もし今～だったら、…なのに」

現在、実際に起こっていること、現在の事実とは異なる状況を仮定して述べる時、〈仮定法過去〉の文で表します。

仮定	「もし今 <b>OO</b> だったら、… <b>なのに</b> 」 「会社にもっと <b>お金があれば</b> 、新しい機械を <b>買えるのに</b> 」
現実	「しかし今 <b>OO</b> ではないので、… <b>ではない</b> 」 「会社 <b>にお金がないので</b> 、新しい機械は <b>買えない</b> 」

このような仮定法過去の文は、次のように表します。

(もし、**OO**だったら)〈仮定文〉 → **If** + 主語 + 動詞の**過去形**

(…**なのに**)〈帰結文〉 → 主語 + **would / should / could / might** + 動詞の**原形**

「会社にもっと**お金があれば**、新しい機械を**買えるのに**」という文は、

If the company **had** more money, we **could** **buy** the new machine.

過去形

助動詞の過去形 + 動詞の原形

仮定文の動詞がbe動詞の場合、主語がIやhe / she / it(3人称単数)であってもwereを用い、このwereは、「あり得ない現実を仮定する」意味でwasの代わりに使われます。

If I **were** you, I **would** not **do** such a thing.

→「もし私があなた**なら**、そんなことはしないだろうに」

※口語では主語が1人称単数および3人称単数の場合、wasも使われることがあります。

## 2 仮定法過去完了：「もしあのとき～だったら、…だったのに」

過去に実際に起こったこととは反対の状況を仮定して述べる時、〈仮定法過去完了〉の文で表します。

仮定	「もしあのとき〇〇だったら、…だったのに」 「会社にもっと <b>お金があったら</b> 、新しい機械を <b>買ったのに</b> 」
現実	「あのとき〇〇ではなかったので、…ではなかった」 「会社に <b>お金がなかった</b> ので、新しい機械を <b>買えなかった</b> 」

このような仮定法過去完了の文は、次のように表します。

(もし〇〇だったら) → **If** + 主語 + 動詞の**過去完了(had + 過去分詞)**

(…だったのに) → 主語 + **would / should / could / might** + 現在完了形(have + 過去分詞)

「会社にもっと**お金があったら**、新しい機械を**買ったのに**」という文は、

If the company **had had** more money, we **could have bought** the new machine.

過去完了形

助動詞の過去形 + 現在完了形

### 3 ifを省略した仮定法の文：倒置(主語+動詞(または助動詞)の順番が逆になるなど原則的な語順が変わることを「倒置」と言います。)

仮定法のif節のifを省略すると、後ろの主語と動詞(または助動詞)は倒置され、疑問文と同じ語順になります。

If the company **had** more money, we could buy the new machine.

↓ ↓  
= **Had** the company more money, we could buy the new machine.

## 4 その他の仮定法

仮定の状況の意味する表現を確認しましょう。

① I wish (that) ~ 「～なら[だったら]なあ」

② Without / But for ~ 「～がないならば、～がなかったならば」(\*前置詞なので、後には名詞(句)が続きます)

③ as if ~ 「まるで～かのように」

これらは、現在または過去の事実とは違う状況を仮定して述べる、〈仮定法過去〉〈仮定法過去完了〉のどちらを表す文も作成することができます。

## 5 〈時・条件〉を表す副詞節を作るif：「もし～ならば」

現実のことや、現実にかかる可能性のあることを表す動詞の形を直説法と言い、ifを含む副詞節は「もし～ならば」という条件を表します。

「**部長がもし賛成したら**、**わが社はもっと人を雇うだろう**」という文は、

If the manager agrees, we will hire more people.

〈条件〉を表す副詞節

未来のこと → 助動詞will で未来時制

直説法の場合、ifを含む副詞節は未来のことであっても現在形で表します。

### ifと同じように時・条件を表す副詞節の冒頭におく語句

when 「～のとき」、while 「～の間」、before 「～の前に」、after 「～の後に」、as soon as 「～するとすぐに」、as long as 「～する限りは」、as far as 「～する限りは」など。

Q 次の英文の空所に入る最も適切なものを (A) ~ (D) の中から選びましょう。

### 練習問題

- ① もし天気が悪ければ、明日のイベントは開かれるでしょう。  
If the weather (                    ) good, tomorrow's event will be held.  
(A) will be            (B) was            (C) has been            (D) is
- ② もし助けがなかったら、状況はさらに悪くなっていたかもしれません。  
(                    ) help, the situation would have been worse.  
(A) Without            (B) As soon as            (C) If            (D) No
- ③ もし職場にもう1台プリンターがあれば、配布物のコピーが取れるのに。  
If our office (                    ) another printer, I could make a copy of the handout.  
(A) has            (B) had            (C) have            (D) had had
- ④ 小包が来たらすぐに、彼らはその問題を解決するでしょう。  
As soon as the package (                    ), they will fix the problem.  
(A) will come            (B) come            (C) comes            (D) came

### 発展問題

TOEIC® L&R TEST 本番レベルの問題にチャレンジ。

多少難解な表現も入っていますが、学習した文法知識で解ける問題です。

- ⑤ If the weather (                    ), the country music concert will be held in accordance with the original plans.  
(A) permit            (B) permits            (C) will permit            (D) will be permit
- ⑥ (                    ) the international aid to provide proper treatment for patients, the disease would have been spread at a much faster speed.  
(A) Not until            (B) Never            (C) Without            (D) No
- ⑦ (                    ) we another printer, we could make a copy of the handout to show the General Manager right now.  
(A) Has            (B) Had            (C) Have            (D) Had had
- ⑧ When the joint part (                    ), the technicians will finish setting up the production line for the new electronic device.  
(A) will arrive            (B) arrived            (C) arrives            (D) arrive

練習問題

- ① (D) カンマ後の文に **tomorrow's event** 「明日のイベント」や助動詞 **will** があることから、この **if** 節(副詞節)は直説法だとわかります。副詞節では、未来のことであっても現在形で表します。(D) **is** が正解。
- ② (A) 1語で「～がなければ、なかったら」という仮定の状況を示すことができるのは、(A) **Without** のみ。
- ③ (B) 現在の状況に対する仮定なので、動詞の過去形(B) **had** が正解。実際には「ない」ので、コピーは取れない、という状況の文です。**handout** 「配布物」。
- ④ (C) **as soon as** は「～したらすぐに」の意味で、(時)を表す副詞節の冒頭におく語句。副詞節では、未来に起こることであっても現在形で表します。(C) **comes** が正解。

発展問題

- ⑤ (B) **もし天気が許せば、カントリー音楽のコンサートは当初の計画に沿って行われるでしょう。**  
カンマの後の文に **will** があることからこの **if** 節(副詞節)は直説法だとわかります。副詞節では、未来のことであっても現在形で表します。(B) **permits** が正解。**if the weather permits** はよく使われる表現なのでそのまま覚えましょう。
- ⑥ (C) **もし患者に適切な処置を施す国際支援がなかったら、その病気はもっと早い速度で蔓延していったでしょう。**  
カンマの後の文が **would have been** 「だったろう」となっていることから(仮定法過去完了)の文だとわかります。主節に「病気が広がった」、空所の後が **the international aid** とあることから考えて(C) **without** が正解。**aid** 「支援」、**provide + 物 + for + 人** 「人に物を提供する」、**disease** 「病気」、**spread** 「蔓延する」。
- ⑦ (B) **もし私たちにもう1台プリンターがあれば、部長に今すぐ見せる配布物のコピーをとることができるのに。**  
カンマの後が過去形の文になっているので(仮定法過去)の文だとわかります。選択肢に **if** がないので、**if** を省略した倒置の形である(B) **Had** が正解。
- ⑧ (C) **その接合部分が届いたら、技術者は新しい電子機器のための生産ラインの設置を終えるでしょう。**  
**when** 「～するとき」は、④ **as soon as** と同じく副詞節の冒頭におく語。副詞節では、未来に起こることであっても現在形で表します。**the joint part** 「接合部分」は3人称単数なので、呼応する(C) **arrives** が正解。